

日刊工業新聞

THE NIKKAN
KOGYO SHIMBUN
11月7日 曜日
2022年(令和4年)

TODAY

28 技能五輪



熱戦「若き匠、技競う」

幕張メッセ(千葉県美浜区)など13会場で開催された「第60回技能五輪全国大会」が6日までに、競技日程を終えた。次代のモノづくりを担う「若き匠、たちが、これまでの訓練・努力の成果を発揮。卓越した技能で熱戦を繰り広げた。

- 11 水素センサーにメモリー技術活用
ヌヴォトン、消費電力1万分の1
- 13 1つの検体から複数項目検査
ヘルスケアシステムズ
- 18 理研の量子古典ハイブリッド基盤
文科省、事業を前倒し
- 26 石川樹脂、世界に挑む
「ガラス」樹脂、食器
- 27 名木テーマのビジネス始動
銘木総研、第1弾は頼朝杉

インタビュー

- 09 エンシュウ執行役員・加藤猛氏
日本精工執行役専務・吉清知之氏
- 10 村田機械副社長・村田洋介氏
新日本工機社長・中西章氏
- 18 JAXA名誉教授・的川泰宣氏

卓見異見
05 防災科学技術研究所
理事長・林春男氏

講演
06 産学連携推進機構
理事長・妹尾堅一郎氏

決算まとめ 17.海運
【広告特集】
2022林機展 8面

大災害時のID発行について
大規模自然災害で印刷所からの新聞輸送に支障が生じた際は、月ご購読者に限り電子版が一時的にご覧いただけます。ウェブサイトhttp://www.nikkan.co.jpからお入り下さい。
日刊工業新聞社
www.nikkan.co.jp

放電加工ワイヤ回転式

ソディック 高品質・省エネ両立

ソディックはリニアモーター駆動式ワイヤ放電加工機「ALシリーズ」に独自のワイヤ回転機構を全面的に搭載する。同機構を搭載した新機種を12月に市場投入し、新開発の放電加工制御技術とともに、今後全機種に標準搭載する。加工性能の向上とともに低消費電力の点を含めた環境配慮型機械としても訴求し、電気自動車(EV)関連市場を深掘りする。



上位機種に搭載

ソディックはワイヤ放電加工機を主力とする工作機械事業の売上高を2026年12月期に21年12月期比約5割増の760億円に引き上げる目標を掲げる。今回の新機種投入を目的として、ワイヤ放電加工機(ワーク)の上から下までを常に未消費のワイヤ面で仕

上げ加工する。ワーク上面から下面まで均一で良質な面が得られるのに加え、仕上げ加工領域のワイヤ使用量を最大30%削減できる。加工精度やカバレッジ、加工速度の仕様に合わせた8機種で構成。最大ワーク寸法は幅600mm×奥行470mm×高さ240mm、幅800mm×奥行570mm×高さ340mmに対応する。価格は1800万円(消費税抜き)から。併せて採用する新開

内装監理 クラウド化 スペース、紙の書類9割減

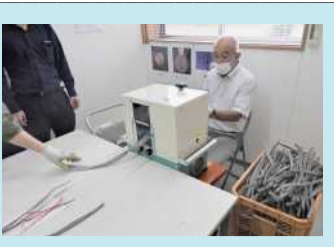
内装監理とは事業者(デベロッパー)の代行業務として、商業施設などの新設や改装時に搬入・搬出・搬送・搬入・搬出の作業を行う。従来は紙の書類を9割をそれぞれ削減できた。デベロッパーなど利用者の評価を基にシステムを改良し、2023年内にもシステムを外販する。価格は今後詰める。初年度に20件、徐々に認知度を上げて2年以内に80件のサービス提供を目指す。



内装監理システムのスキャン画面イメージ。内装監理業務の搬入届や作業届の作業書類を従来比7割、紙の書類を9割をそれぞれ削減できた。デベロッパーなど利用者の評価を基にシステムを改良し、2023年内にもシステムを外販する。価格は今後詰める。初年度に20件、徐々に認知度を上げて2年以内に80件のサービス提供を目指す。

25

障がい者を直接受け入れ(脳電線リサイクルキャッチャー、剥線機)中央



08

10人乗り電気自動車

イメイドは、10人乗り電気自動車(EV)「CV-10」を開発した。

10

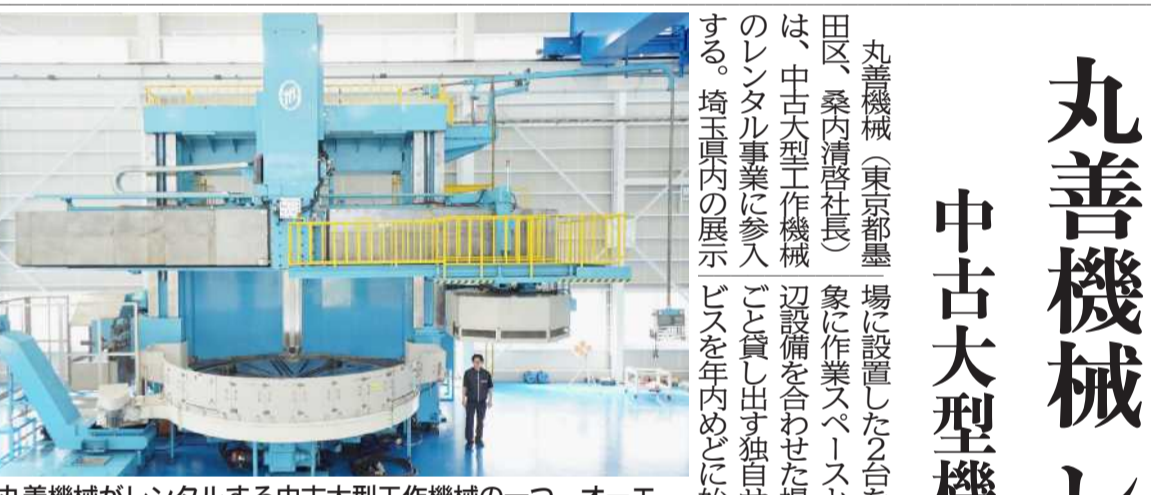
加工真円度90ナノ

アビコ技術研究所は、実測値で加工真円度90ナノの超微細加工機の受注を開始する。



新たな医療機器 目標に

グンゼの龍菌せなさんは、人工皮膚など創傷治療に関する医療機器の新規開発や改良を担う。まだ世の中になかった製品を市場に送り出すことが目標だ。「(自身の仕事が)後々影響しないか」を考え、生産など関係部署や医師、患者まで思いやった仕事を心がけている。



丸善機械がレンタルする中古大型工作機械の一つ、オーエム製作所製の立型旋盤「TMD-40/45」

丸善機械 レンタル参入

丸善機械(東京都墨田区、桑内清啓社長)は、中古大型工作機械のレンタル事業に参入する。埼玉県内の展示場に設置した2台を対象に作業スペースと周辺設備を含めた場所ごと貸し出す独自サービスを年内めぐり始める。今回の貸し出す大型機械はオーエム製作所製の立型旋盤「TMD-40/45」とオーエム製の5面加工型マシンングセンター「MC-R-BI30x50E-AP」の2台。材料や加工品を取り置く場所も含めて貸し出す。操作要員は顧客が手配し、電気代などの必要経費も顧客負担とする。

消費税抜きのレンタル料はTMDが月40万円、MCRは同250万円をそれぞれ想定。利用者に企業規模、業種などの条件は付けない。貸し出し期間は最低半年の予定だが、要望には柔軟に対応する。2台を設置したのは、同社にとって5つ目の展示場として7月開設した「ネクスト東京マシンテック」(埼玉県加須市)。敷地面積は1万3000平方メートル、展示場面積は約3000平方メートル。手狭になれば拡張の余地はある。工作機械は新品の場合、納期が10カ月から1年以上とされる。大

業者は紙ではなくクラウド上で申請状況を確認可能で、一元的な管理により関係者が円滑に情報共有。「お知

産業春秋

市川海老蔵さんが社長は、歌舞伎に世界「市川團十郎」を襲名する理由を、きょうから襲名披露こう語った。「白露公演が始まる。30年、黒つけない「暖味さ」0年以上続く大名跡。を受容する日本人独特の精神性への関心が背荒々しく豪快な演出スタイル「荒事」を創始した。初代に始まり、それぞれの個性で人気を博してきた▼日本を代表する伝統文化の歌舞伎だが、興行を担う松竹は、排他的なナショナルイズムを追求。海が付く▼あれから6年。世界の分断は層深まっている。独裁者ガスを公演では「石橋」の「野望」のために日伝説を基にした作品を常を奪われた人々は何披露。パナソニックやNTTなどの最先端技術を駆使し顧客を魅了した▼当時のインタビューで松竹の迫平一

第2部 JIMTOF 2022